



目指せ!プロ野球選手

5月5日のこどもの日。日本プロ野球OBクラブの少年野球教室が、お倉ヶ浜総合公園で開かれ、市内外の野球チームの子供たち約70人が参加しました。

小雨の降る中、本県出身の小川亨さん（元近鉄）ら4人の指導に、参加した子供たちは目を輝かせていました。将来は、プロ野球選手になれるかな。



5月10日の高校生ボランティア連絡協議会総会

設の要望に応じ決定しています。「世界樹」の会長である黒木一精さん（日向高校3年）は、「友人に誘われたんですよ」と、グループに加入したきっかけを話してくれました。「これまで私は、施設に入所している人に対して偏見をもっていました。でも、この活動に取り組むようになって、自分たちと何らかわらない同じ人間なんだということが分かりました」と黒木一精さん。

また、同グループの黒木和志郎さん（日向高校3年）は、加入したきっかけについて、中学生のときに参加した福祉キャンプをあげています。福祉キャンプで、人とのふれあいのすばらしさ、大切さを感じた黒木和志郎さんは、中学

校でもボランティアアグループを結成したそうです。

このような高校生のボランティア活動に対し、ラポール向洋の島田徹男事務長は「施設は、地域に開かれたものでなければなりません。これからも若い人とのふれあいをできるだけ増やしていきたいですね。高校生にとっても、ボランティアは人に何かをするのではなく自分のためになるんだ、ということを学んでほしいと思います」と言っています。

市内の高校生のボランティアグループは、現在5グループ。それぞれが、刺激しあいながら活動を展開しています。「世界樹」は、今の活動を継続しながら、今やれることを精いっぱい取り組んでいきたいと考えています。

してあげるのではなく
自分が学ぶ活動です

録音・音訳ボランティア

「虹の会」

視覚障害者や高齢者のために、本や新聞などの音訳を行っているのは、ボランティアグループ「虹の会」です。

「虹の会」は、朗読奉仕員証を取得している村上喜美子さん（66



施設入所者と笑顔でふれあう「世界樹」の黒木一精さん

ボランティアって何だ

特集

ボランティア——。そう聞いただけで、何だか構えてしまいませんか。しかし、ボランティアは、だれにでも簡単にできるものです。きっとそれは、活動自体を指すのではなく、心の持ち方が大切だからです。今月号では、市内でボランティア活動に取り組む3つのグループを紹介します。皆さんも、ボランティアについて一緒に考えてみませんか。

今やれることを
精いっぱいやります

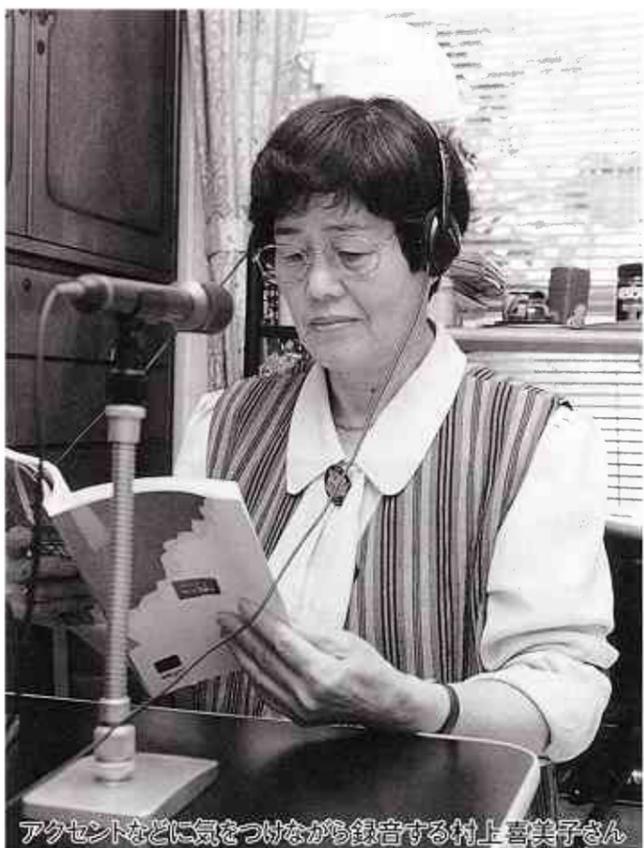
高校生ボランティアグループ
「世界樹」

市内では最近、中・高校生のボランティアグループの活動が盛んです。市内の高校生で組織する高校生ボランティアグループ「世界樹」もその一つ。「世界樹」は、平成5年7月に発足し、現在会員35人です。

主な活動内容としては、毎月第2、第4土曜日に精神薄弱児施設あかつき学園や特別養護老人ホーム永寿園、老人保健施設ラポール向洋などを訪問し、掃除、配膳など施設のお手伝いや入所者とのふれあい交流を行っています。

また、リサイクル活動や福祉イベントの協力なども、中心的な活動となっています。

このような活動内容は、第2、第4木曜日の定例会において、施



アクセントなどに気をつけながら録音する村上喜美子さん

歳・庄手）ら3人を中心に、平成8年8月に結成されました。現在では、12人の会員で活動しています。

主な活動は、自宅で録音編集したテープを、登録された利用者の方にお届けしています。録音・音訳しているものは当初、新聞の社説やコラムなど短いものばかりでしたが、現在では短編小説なども手掛けています。対象者は、現在のところ13人程度で月1回の配布ですが、1回の録音で3時間（テープ3本分）もかかることもあり

この活動のために、しっかりとしたアクセントやイントネーション

ンで朗読できるよう月1回の定例会と称する講習も行っています。

この「虹の会」で中心的に取り組んでいるのが、村上喜美子さんです。村上さんは、この活動のほかに、いろいろなボランティア活動に参加しています。

「人の喜ぶ姿が、私の喜びなんです」と、これらの活動に取り組み始めたきっかけを語ってくれました。

村上さんは以前、病院で医療事務の仕事に就いていました。そこで出会った人々の内面にふれたこと、また、自分自身の生活が苦しかったとき、周りの人々が助けてくれたことに対し、少しでも人の



日向市ボランティア連絡協議会会長
首藤正一さん(64歳:春原町)

ボランティア活動で 明るいまちづくりを

ボランティアは、「自発性」及び「自主性」「福祉性」「無償性」「継続性」の五つの原則から成り立っているものです。つまり、自発性は自ら進んで行動すること、自主性は自分たちで計画すること、福祉性は社会生活に関すること、無償性は代償を受け取らないこと、継続性は途中で投げ出さないことです。これらをすべて満たしたものが、はじめてボランティアと

言えるのではないのでしょうか。しかし、だからといって何も「ボランティアをする」と身構えてしまう必要はありません。まずは、「行動する」ことが大切なのです。現在またはこれからの社会構造の変化を考えると、ボランティアを取り巻く環境は、ますます重要になってくるものと思われまふ。そんなとき「問題に気づいた人が行動する」ということが大切になってくるのではないのでしょうか。そんなボランティア活動が、日向市の明るいまちづくりにつながるのだと思います。今、市内の若者、特に高校生の間でボランティア活動が大変活発になってきています。このことは、大変頼もしく思います。市ボランティア連絡協議会では、このような団体がスムーズに活動できるように、これからも側面的に援助していきます。

「ボランティアって何でしょう?」
「人と人とのふれあいの場」、「社会参加の場」、「人助け」など、人それぞれにさまざまな考え方があると思います。しかし、何も難しく考える必要はありません。あなたが「何とかしなければ・・・」と感じている問題について、一人で、または、仲間と共に考え、すすんで行動することがボランティアです。そして、始めた活動は、最後までやり遂げ、その行為に報酬を期待しないことです。また、ボランティア活動は、自分自身の一方的な思い込みで行うものでもありません。ましてや相手に対し、「かわいそうだ」と哀れんで行うものでもなく、自分を犠牲にして行うものでもありません。自分が行う行動やその結果を見て、だれかや自分が「しあわせ」を感じることを、それがボランティアなのです。だれかが「しあわせ」を感じる行為がボランティアならば、ボランティアは、「心と心のふれあい活動」と言えるのではないのでしょうか。

6月から9月まで ボランティア体験講座

市社会福祉協議会では、「みやぎきボランティア体験月間」に合わせて、ボランティア体験講座を6月から9月まで開催します。あなたが、ふだんの生活の中で思ったり、感じたりしていることを、この体験講座の中で語り合ってみませんか。

対象は、小学生、中学生、高校生及び一般で、それぞれに分かれて講座が開かれます。内容や申込期限などがプログラムによって異なりますので、市社会福祉協議会(☎5212572)へお問い合わせください。

喜びの役に立てればと思うようになったそうです。
「障害者や高齢者など多くの人と接することにより、本当に多くのことを学びます。そんなとき、だれかのためにボランティア活動をしているのではなく、自分のために活動しているのだと実感しますね」と村上さん。

「虹の会」は、まだスタートしたばかり。これからが本番と、気合を入れ直します。

村上さんらは、「井の中の蛙ではないけない」と多くの人との出会いを求めています。決して、「だ



対象者スピードに合わせて走る久世綱雄さん(右)

れかに何かしてあげる」というのではなく、心から楽しく活動を続けていきたいと考えています。

自分の練習もかねて ふれあいジョギングを

日向市視覚障害者
「伴走協会」

「健康づくりのために、運動したい。走りたい」というのは、健康者ばかりでなく、障害者も同じ

気持ちを持っています。このような視覚障害者の思いにこたえようと、マラソン大会等での伴走活動を行っている団体に、日向市視覚障害者「伴走協会」があります。「伴走協会」の主な活動は、各地で開催されるマラソン大会での伴走協力や定例のふれあいジョギングなどです。現在、14人の会員で活動しており、対象者は9人。しかし、練習のための定例ジョギングなど日常活動を行える会員は2人だけで、対象者すべてをカバーできていないのが現状だそうです。

この「伴走協会」で、定例ジョギングなど積極的に活動しているのは、会長の久世綱雄さん(70歳・曾根)です。久世さんは、60歳のとき健康づくりのためにマラソンを始めました。伴走活動に取り組み始めたのは、5年ほど前の青島太平洋マラソン大会で視覚障害者の伴走者の募集に応募したのがきっかけだそうです。

「自分の練習もかねて、昨年から定例ふれあいジョギングを始めました。伴走は、走る喜びを分かち合えるすばらしいものです」。久世さんは、2人の方を対象に定例ふれあいジョギングを行っています。1週間のうち5日間、交通量の少ない時間を見計らって、朝6時に対象者宅に向かいます。



伴走用のロープを通して信頼も伝わる

「引っ込み思案な性格が、マラソンを始めて明るくなったなどの話を聞くと、本当にやり甲斐があります」と久世さんは言います。久世さんの伴走で、日常のジョギングやマラソン大会の出場を果たしている甲斐万福さん(55歳・松原)は、「昔から走ることは、好きでした。久世さんたちのお陰で、本当に楽しく走ることができています」と語っています。ボランティアについて久世さんは「一言では言えないが、世の中を明るくする活動ではないでしょうか」と言っています。また、「走りたくても伴走者がいなくて走れない視覚障害者が、たくさんいます。私たちと一緒に伴走に協力してくれる人はいませんか」と、訴えています。

水道で今日も安心水ある暮らし

毎日、何げなく使っている水道の水。水は、私たちの生活になくてはならないものです。現在、市の水道普及率は、97・59パーセント。市は、安全でおいしい水を安定的にお届けしていくため、日々努力しています。

6月1日から7日までは、水道週間です。この機会に、日向市の水道水について理解を深めましょう。

市民の生活を潤す豊富な水源

市民の皆さんの生活を潤す水道水はどこから流れてくるか、ご存じですか。それは、耳川です。耳川は、椎葉村の山中から諸塚村、西郷村、東郷町を経て日向市にたどり着き、これまでどのような干ばつにも決して枯れることはありませんでした。日向市の水道水は、この耳川から富島幹線用水路により権現原浄水場まで送られ、そこから各家庭に届けられています。つまり、耳川は私たちの暮らしの源であり、その耳川を守り育てているのは入郷町村の人々です。私たちは、入郷町村の人々に感



市の水道水を管理する権現原浄水場の中央管理室

謝しながら、限りある資源「水」を大切に使用しなければなりません。

生活様式等の変化に伴い 拡張工事を実施

日向市の水道は、昭和25年から給水をはじめます。当初、計画給水人口1万人、一人一日最大給水量1500リットル、一日最大給水量15000立法メートルでした。

その後、給水区域の拡大、人口の増加、生活様式の近代化等に伴い、需要水量が増加したため、平成7年度までに第6次にわたる拡張工事を実施してきました。

その結果、現在では、一人一日最大給水量6000リットル、一日最大給水量4万2300立法メートル、計画給水人口7万5000人に対して給水できるまでになっています。

市は、これからも将来にわたって水の安定供給の確保を目指し、市民の皆さんが安心して水道を使用することができるよう努力していきます。

水の大切さを見直す「水道週間」

毎年6月1日から7日までの1週間は、水道週間です。この期間中、水道に関する啓発事業やイベントが、全国的に開催されます。今年の全国標語は「水道で今日も安心水ある暮らし」。

蛇口をひねると、いつでもきれいな水が出る水道の便利さに慣れ過ぎていて今日、この機会に水の大切さを改めて見直し、理解を深めてください。

市は、水道週間期間中、権現原浄水場の開放、水道工事に関する相談所の開設、蛇口のパッキンの無料取り替えを実施するほか、広報教材としてビデオをいつでも貸し出しています。

詳しくは、市水道課（☎5215228）へ。

※水道の新設や増設、修理工事などは、市の指定店でなければ行うことはできません。水道工事の際には、市水道課へお問い合わせください。

梅雨時期を前に

災害危険箇所総点検

市は5月8日、梅雨の大雨時期を前に災害危険箇所総点検を行いました。災害危険箇所総点検は、市が指定している災害危険箇所や避難場所を防災関係機関と点検を行い、今後の災害対策を協議するために毎年行っているものです。今年度は、細島海上保安署、日向警察署、日向土木事務所、日向市（消防本部・署、建設課、農林水産課、福祉事務所、総務課、各支所）が参加しました。

現在、市では、120カ所の災害危険箇所が指定されています。その内訳は、増水時に溢水の危険性がある河川が11カ所、高潮・津波の際に浸水の危険性がある海岸が9カ所、がけ崩れの恐れがある急傾斜地が47カ所、土石流の発生する危険性がある場所が52カ所、そして地すべりの発生する危険性がある場所が1カ所となっています。

これらの危険箇所は、それぞれの危険度に応じて高い順にA、B、Cの3つのランクに分けてあります。現在、危険度の最も高いAランクの危険箇所が36カ所、Bランクが44カ所、Cランクが40カ所となっています。

これらの災害危険箇所の対策については市は、危険度の高いものから順次対策工事を行っています。他の危険箇所についても、国、県と協議を行いながらできるだけ早期に実施できるよう努力していきます。

また、これらの危険箇所については、看板等で表示してありますので、近隣の方は日ごろからの心構えと備えをお願いします。



美々津浜山海岸を点検する参加者

今年度は、昨年の台風19号の際、床上、床下浸水等の被害が多発した美々津、幸協地区の災害危険箇所や市民の皆さんから寄せられた情報を元に点検を行いました。その結果、新たに危険箇所2カ所と、避難場所1カ所の追加について協議がなされました。これらの箇所につきましては、6月5日に行われる日向市防災会議で決定されます。

各地区の避難場所については、日向市防災会議の終了後にお知らせします。

ひむか・まほろば八景

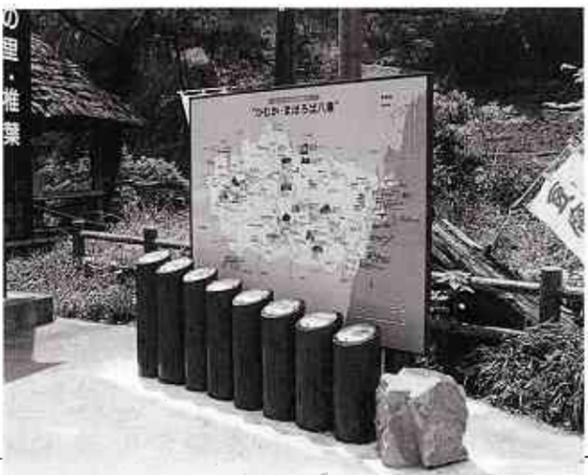
観光案内板を設置

日向市と入郷7町村で組織する日向・東臼杵南部広域観光ルート推進会議は、「ひむか・まほろば八景」として、圏域8カ所に観光案内板を設置しました。

案内板は、幅214センチ、高さ214センチで、主な観光地をイラストと日本語、英語、韓国語及び中国語の4カ国語で表示しています。

また、案内板の前には、8本の杉材と1個の石が並べられています。杉材は、8市町村の標高を表している、上部にそれぞれのメインとなる観光地の写真と説明文が掲載されています。

また、右端に設置されている石は、馬ヶ背をイメージしているものです。この観光案内板が設置されているのは、次の8カ所



- ▽日向サンパーク（日向市）
- ▽門川海浜総合公園（門川町）
- ▽道の駅「とうごう」（東郷町）
- ▽ながされ番所跡コミュニティ広場（南郷村）
- ▽おせりの滝キャンプ場（西郷村）
- ▽小屋天文台（北郷村）
- ▽もろっこハウス（諸塚村）
- ▽物産センター平家本陣（椎葉村）

日向市の応援団に

ふるさと大使10人を委嘱



委嘱状を受け取る大使の桂歌春さん

市は、首都圏における情報の発信や収集を通じて本市の活性化を図るために、「日向市ふるさと大使」を設置し、4月14日、都内のホテルで委嘱状交付式を行いました。

大使として委嘱されたのは、首都圏に在住する本市に縁のある方10人で、任期は2年。職務は「本市の観光を中心とした宣伝活動に努めること」、「本市の活性化を図るため必要な情報を収集すること」、「東京と日向市で年に2回開かれる日向市ふるさと大使会議に出席し意見を述べること」となっています。

委嘱式では、赤木市長が「今後、日向市の発展のために、さまざまなお提言をいただきたい」とあいさつし、大使に選ばれた10人に委嘱状を手渡しました。

その後、早速、第1回目の会議を行い、相互交流を深めました。委嘱された大使は、次のとおりです（敬称略）。

- 京都練馬区在住（日知屋出身）
- ▽黒木良一（財）首都高速道路協会 参与・東京都東久留米市在住（江良町出身）
- ▽久保庭美加（株）日本スポーツ企画出版社フリーライター・東京都台東区在住（北町出身）
- ▽園田泰隆（日本棋院棋士・東京都新宿区在住（原町出身）
- ▽桂歌春（本名：田代修吉）落語家真打ち・東京都板橋区在住（財光寺出身）
- ▽寺原純夫（株）第一ホテル東京ベイ取締役営業推進部長・東京都杉並区在住（財光寺出身）
- ▽中島弘明（株）メディキット代表取締役・千葉県習志野市在住（原町出身）
- ▽山口登美（主婦）（元日向市監査委員事務局長夫人）・東京都新宿区在住
- ▽八尋舜右（作家、詩人・川崎市宮前区在住（美々津町出身）
- ▽山下尚生（富島高校東京同窓会会長・埼玉県所沢市在住（富高出身）

こどものとも

復刻版に人気

春のとしよかんまつり



人気を集めた「こどものとも」復刻版

5月1日から15日までは、こども読書週間でした。期間中、市立図書館でもさまざまなイベントが開かれ、多くの人でにぎわいました。

中でも、5月2日から17日まで館内で展示された「こどものとも」復刻版に人気が集まっています。「こどものとも」は、1956年4月に創刊した絵本で、毎号一つの物語に一人の画家が挿絵をつけるペーパーバック版の月刊物語絵本で、去年の10月までに500号を発行しています。復刻版は、それを記念して創刊号から100号までの

作品を集めたもので、大人の方にはなつかしく、子供の皆さんには今でも新鮮に映るものばかりでした。

また、5月9日は、「春のとしよかんまつり」が行われ、昨年1年間の図書利用が多かった小学生が1日図書館員として任命されました。1日図書館員になったのは、甲斐雄太くん（富高小5年）、石原亜樹美さん（同6年）、岩田元晴くん（塩見小3年）の3人で、任命式が終わると早速カウンターに座り、貸し出し業務などに当たっていました。

市政の動き

健やかな成長を願って ご存じですか？各種手当

◆児童手当
3歳未満の児童を養育している保護者に対し、所得に応じて支給するものです。現在、児童手当を受けている方は、6月中に養育の状況などを届け出る「現況届」を提出しなければなりません。これを提出しないと、6月分以降の手当が受けられなくなりますのでご注意ください。

◆児童扶養手当
父と生計を同じくしていない児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者。障害者は20歳未満）に支給されるものです。所得制限などのほかに、受給資格に該当するようになった後、請求をしないままに5年を経過すると請求権がなくなりますので、ご注意ください。

◆乳幼児医療費助成制度
満4歳（入院）及び満3歳（入院外または歯科）の乳幼児に対する医療費の助成を行っています。助成額は、1カ月の保険診療の合計額から1000円を差し引いた額です。診察を受けてから1年以内に申請してください。

※これらの各種手当について詳しくは、市福祉事務所児童母子係（☎内線2164）へ。

風船に願いをこめて



第2回こどもおまつり広場が5月17日、市中央公民館及び文化交流センター交流広場で開かれ、ふれあい動物コーナーやハイハイ競争などに多くの家族連れが参加しました。

開会式では、来年少学校に入学する保育園児の願い事が一枚一枚入った風船を、いっせいに大空へ放ち開会を宣言しました。

平成10年度 地域環境保全セミナー

- ◇講師＝片山純子さん（九州通産局九州地域環境調和型経済研究会委員、ワーカース・ごみ問題研究会代表）
- ◇演題＝くらしの中のごみ問題を理解する
- ◇日時＝6月30日（火）午後2時～
- ◇会場＝市文化交流センター・小ホール
- ◇入場料＝無料

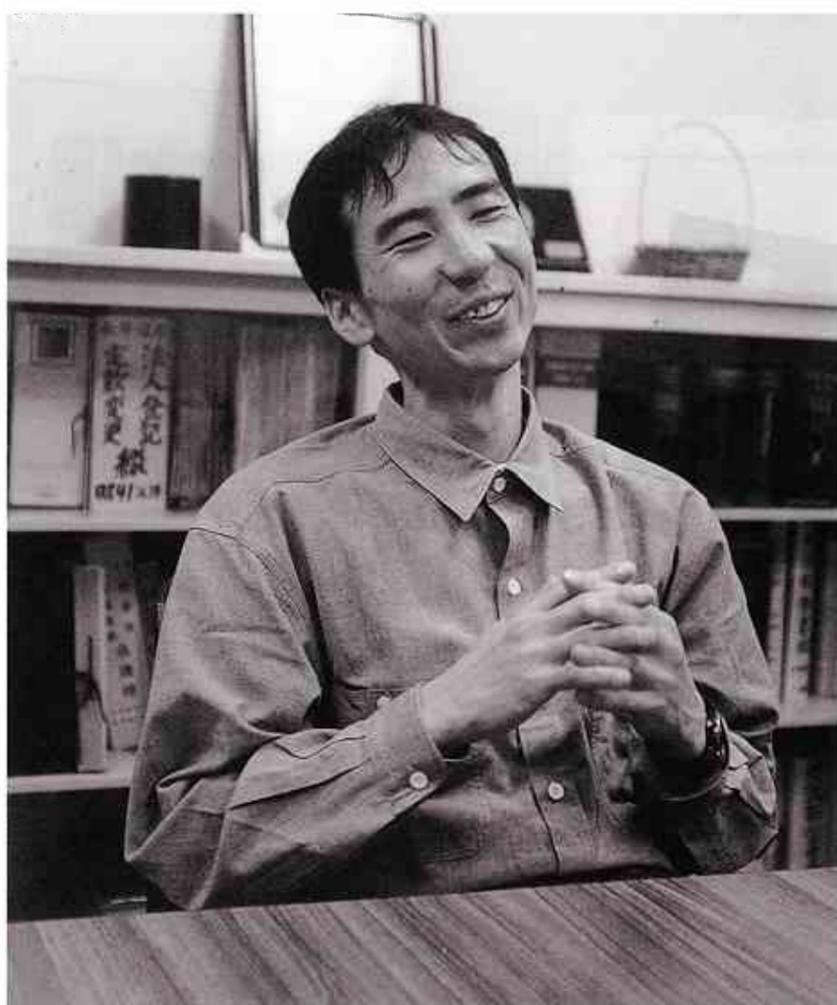
五月晴れの中で ウォークラリー



コマ図をもとに出発していく参加者

前日の雨がうそのように晴れ渡った5月17日、全国一斉ウォークラリー大会が市街地周辺で開かれ、市内をはじめ近隣市町村から22チーム87人が参加しました。ウォークラリーは、コマ図を参考にチェックポイントを通過し、目的時間を指すというもの。参加者らは、汗だくになりながらゴールを目指していました。

第11回 OSAKANA料理
コンクール開催
「みやざきのさかな」15種類を素材にしたアイデア料理のコンクールを行います。6月30日締切。詳しくは、県漁業協同組合連合会（☎090-5-28-6111）へ。



ボランティアグループ「トム・ソーヤ」会長 児玉清文さん(32歳:笹野東)

結成10周年は一つの節目 初心に返り活動していきます

ひむか人

CLOSE-UP

「今年の10月10日で、結成10周年になるんですよ。ですから、今年、記念に10のイベント等を企画しています。」
一般成人で組織するボランティアグループ「トム・ソーヤ」の会長・児玉清文さん(32歳:笹野東)は元気に語ります。
「トム・ソーヤ」は昭和63年10月10日、日向市ジュニアリーダーのOBが集まって結成しました。当初、数名しかいなかった会員も、高校などでボランティアを経験した人たちの加入により、現在では20歳から33歳までの25人の会員で構成しています。
「私たちのグループは、会員全員が自覚を持って行動を起こしているの、団結力が強いんです」と児玉さんは胸を張ります。ジュニアリーダーは、各地区の子供会などで、レクリエーションの指導などに当たっています。そのジュニアリーダーでの活動を経験している者がいるということで、「トム・ソーヤ」の活動にも自然と打ち込んでいるようです。
「トム・ソーヤ」の活動は、児童養護施設・鐘ヶ浜学園の子供たちや知的障害者の会「のぞみ会」の人たちとの交流などを行ってきました。交流の仕方も勉強を教えたり、レクリエーションをしたりと普通のボランティアグループの活動と少し違ってきます。少し前

までは、東郷町に畑を借りて、そこを交流の場に使ったこともありました。
児玉さんは、「ほかの人ができないことが、自分にできるのであれば、手伝ってあげたい。ボランティアという言葉で片付けられるものではなく、心から相手に信頼され、何でも相談できるような関係づくりを目指しています」と、言います。
そんな「トム・ソーヤ」が、今年で結成10周年。今年、障害者や子供たちとの交流はもちろん、記念植樹やタイムカプセルの埋設、文集の発行などを計画中です。
「結成10周年は、一つの節目です。初心に返り活動していくためにも、一層会員の団結力を図っていきます」と、今後の抱負を語ってくれました。



「トム・ソーヤ」とその仲間たち

■広報紙に掲載された写真を差しあげます。希望する方は市総務課(☎内線2234)まで



長生きの秘訣はカラオケ▶

原町の原口センさんが、100歳の誕生日を迎えました。原口さんを含め市内の100歳以上の方は、4人となりました。

原口さんは、寝たきりながらも健康状態は良好で、趣味はカラオケといます。5月1日の誕生日に、お祝いにかけつけた赤木市長にも、自慢ののどを披露しました。



ガーデニングを楽しもう▶

5月17日、「家庭で楽しめるガーデニング」をテーマに美々津小学校でNHK公開セミナー「趣味の園芸」が行われました。園芸研究家：平城好明先生が「これからの園芸は作り育てるだけでなく、遊び楽しむことも大切」と、失敗談などを交えながら分かりやすく説明。300人を超える参加者は熱心に耳を傾けていました。

TOWN-TOPICS まちの話題

◀ 子宮がん検診100万人達成

昭和42年から県が実施している子宮がん検診の受診者が、100万人に到達しました。100万人目となったのは、4月17日に美々津老人福祉センターで受診した黒木厚子さん(幸脇)です。

宮崎県健康づくり協会は、「子宮がん検診だけでなく、ほかの検診も受診して、健康に気をつけてください」と訴えていました。

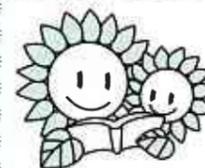


◀ 浜辺に夢いっぱい力作

今回で11回目に向かえた日向かぼちゃ会主催の砂の造形大会が5月17日、好天に恵まれたお倉ヶ浜海水浴場で開催されました。家族連れや友人同士など約450名が参加し、砂浜にはアニメのキャラクターや動物など見事な砂の芸術品がずらり。宝探しも行われ、さわやかな潮風を体いっばいに受け楽しい一日を過ごしました。



みんなの広場



こんにちは
図書館です

図書館ボランティア養成講座

本の朗読や絵本の読み聞かせをしていただく図書館ボランティアの養成講座を開講します。5回シリーズの講座で、すべてに参加できる人が対象となります。

- ◇日程=6月30日~7月28日(毎週火曜日の全5回)午前10時~12時
- ※2回目以降は、日程変更の場合あり
- ◇場所=日向市立図書館
- ◇講師=宮澤信雄さん(MRTラジオ「サタデーランチ」パーソナリティ)
- ◇定員=一般成人30人
- ◇申込期間=6月1日~20日

読書感想絵はがき展作品募集

「出会えてよかった」1冊の本の感想画をはがきに描いた作品を募集します。あなたの心に残る本を、絵にしてみませんか。賞品を多数準備して、お待ちしております。

- ◇募集区分=①小学生の部、②中学生の部、③高校生及び一般の部
- ◇募集期間=7月1日~9月10日
- ◇応募方法=図書館に直接持参するか、郵送してください

図書館休館のお知らせ

日向市立図書館は、蔵書点検のため、7月1日~10日まで休館します。

◎日向市立図書館は

TEL 54-1919
FAX 54-5444

鈴木勝美 久美子さん家の
わんぱくくん(奥野)

こうすけ
幸助くん
(3歳3ヵ月)

ウルトラマンダイナに夢中の幸助くんは、アイスが大好き。お兄ちゃんやお友達と仲良く元気に育つてね。



笑顔・えがお・EGAO大集合

石川雅雄 林美芬さん家の
おてんばちゃん(西草場)

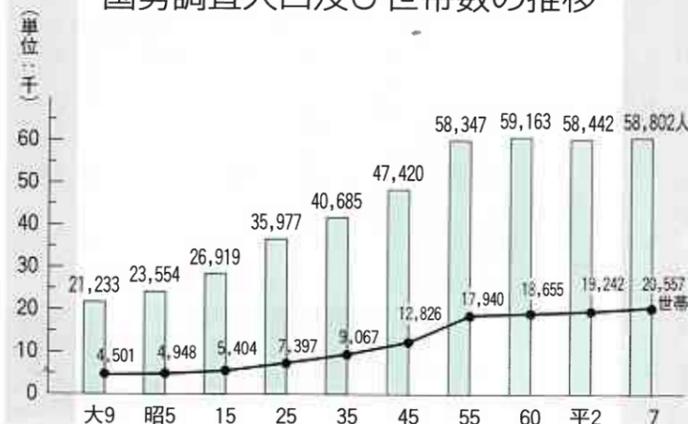
えり
恵里ちゃん
(1歳8ヵ月)

お母さんが中国人だから中国語も上手に話せるんだよ。これからも日本語同様勉強していこうね。



数字で見る日向市②

国勢調査人口及び世帯数の推移



商工業実態基本調査のお願い



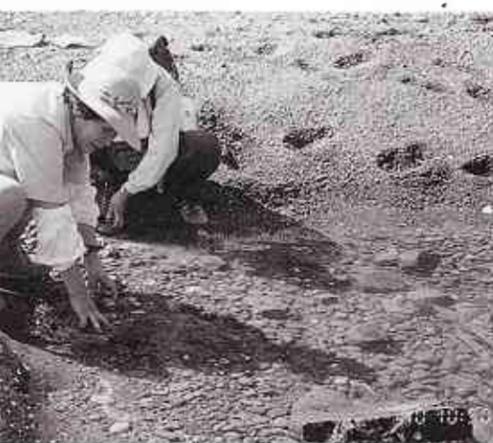
通商産業省の「商工業実態基本調査」が、指定された商工業事業所を対象に6月30日に行われます。この調査は、中小企業の基礎資料を得るためのものです。指定された事業所には、調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

外にとび出そう！14

日向しぜん探訪

御名崎ヶ鼻遊歩道から 金ヶ浜遊歩道までの探訪記 ⑤

平成8年10月10日、遊歩道の入り口から数分歩いた場所にある遊歩道近くの入り江で、一人の男性が波打ち際で何かを捕っていました。



浅瀬に入り込んだイワシを追う妻たち

チほどの真イワシが、群れて砂浜に踊り上がらんばかりに泳いでいるではありませんか。それを見た妻たちは、「ワー」と叫び、靴が濡れるのを気にしながらもハンカチやタオルを広げて懸命にイワシを追っかけました。20匹ほど捕まえたでしょうか。

さて、それからが問題です。このせつかく捕まえた魚をどうするか。取れたてのピチピチです。酔じようゆに浸して皿に盛ったら最高のごちそうですよ。

しかし、私たちは、これから3時間かけて歩く予定です。もちろん、クーラーなどを持っているはずはありません。

悩んだ末、先に来られていた男性の方に、「これも一緒に持って帰ってください」と潔く進呈しました。

ルートに戻ります。ここから2~3分、踏み幅の広い階段を登った所に休憩所が建っています。もし汗ばんでいたら、こちらで上着を一枚脱いだり、持ってきたお茶などを飲んだりするのによいところですよ。

このコーナーは、ふるさとの自然を守る会の小倉久信さん(原町)に寄稿いただいています。



橋口 志保さん
(24歳・切島山2)

いきいき 青春トーク



黒木 太樹さん
(20歳・田の原)

旭建設(株)に4月に入社したばかりです。秘書業務を担当していますが、接客マナーなど仕事を覚えるのが大変です。でも、学生のころからのあこがれの職種なので、やり甲斐がありますよ。旅行が好きで、一番のお気に入りにはロサンゼルス。最近、外国人の友達ができ、国際交流を思いっきり楽しんでいます。

(有)石川建機に勤務し、建設重機や林業機械の修理、整備をしています。子供のころから機械関係が好きで、やさしい上司に囲まれ、楽しく仕事に励んでいます。まだまだ未熟なので早く一人前になりたいですね。趣味はドライブ。先日は、日南海岸に行ってきました。地元では、消防団活動にも参加しています。

市民ガイド

市役所は☎代表
52-2111

宮崎での就職をお考えの方へ

平成10年度宮崎県ふるさと就職説明会

- ◇日時 ①東京/6月6日(土) 午前10時～午後3時30分
- ②福岡/6月27日(土) 午前10時30分～午後3時30分
- ③大阪/7月18日(土) 午前10時30分～午後3時30分
- ④宮崎/8月12日(水) 午後0時30分～4時30分
- ◇会場 ①東京/三會堂ビル9階(東京都港区赤坂1-9-13)
- ②福岡/天神ビル11階(福岡市中央区天神2-12-1)
- ③大阪/大阪駅前第3ビル17階(大阪市北区梅田1-11-13)
- ④宮崎/宮崎厚生年金会館(宮崎市宮脇町38-2)

- ◇実施方法 全体説明の後、直接個別相談に応じます
- ◇参加料 無料(申込不要)
- ◇申込み方法 保育所に備え付けの申請書を利用したい日の3日前までに、実施保育所へ提出してください(緊急な場合は、実施保育所にご相談ください)
- ◇問い合わせ 市福祉事務所(☎内線2164)

◇問い合わせ 宮崎県商工労働部職業安定課(☎0985-2617110) またはふるさと雇用情報センター(☎0985-12713685)

郷土の資料等をご提供ください

市は、市制施行50周年記念事業として、市史を刊行します。そこで市史編さん室では、郷土の資料等の収集、調査を進めています。皆さんがご持ちの郷土の資料(新聞・冊子・写真など)や情報(体験談・言い伝えなど)がありましたら、どんなことでも結構ですのでご提供ください。詳しくは、市総務課市史編さん室(☎内線2236)へ。

事前の届け出が必要です

老人医療の減額制度
老人医療受給者が入院したときの一部負担金は、一日1100円となっておりますが、市民税がかかっていない世帯(非課税世帯)に属する方で、老齢福祉年金受給者の場合は一日500円を負担する「減額認定」

の制度があります。また、食事代についても一日760円かかりますが、市民税の非課税世帯に属する方は、申請により一日650円(過去1年間の入院が90日を超える場合は500円)に減額される制度もあります。ただし、これらの制度を受けるためには、事前の届け出が必要ですので、ご注意ください。

現在、これらの制度を受けている方も5月31日で定期限が切れますので、6月中に市健康管理課に健康保険証、老人医療受給者証、印鑑を持参して、手続きを済ませてください。

《社会保険に加入している老人医療受給者の方へ》
保険証が変わったときは、すみやかに市健康管理課へ届け出てください。詳しくは、市健康管理課(☎内線2153)へ。

一時的にお子さんを預かりします

市は、保護者の方が就労や病気、その他私的な理由により一時的に家庭での保育が困難となる場合に、お

市政ニュース・行事は市政テレホンサービス☎52-2000・2070へ

◎市営住宅の入居募集を6月1日から12日まで行います。詳しくは、市建設課(☎内線2346)へ。

6月の納期

国民健康保険税 第1期
国民年金保険料 6月分

この社会あなたの税がきている

4月中の交通事故

日向市分	()内は前月比
人身事故 死亡 負傷者 物損事故	
11件 0人 12人 134件	
(-8) (-1) (-9) (+18)	

～止まって確認、無事故に挑戦～

決まりを守って快適な生活環境を

00円
◇申込み方法 保育所に備え付けの申請書を利用したい日の3日前までに、実施保育所へ提出してください(緊急な場合は、実施保育所にご相談ください)

環境整備課からのお知らせ

廃棄物処理法では、次のような廃棄物を焼却する際に用いる焼却施設及び焼却方法に関する基準が明確に規定されていて、これに違反した場合は罰則も定められています。

◎燃やす量を適切に調整するとともに、必要な量の空気を送風すること

◎十分な高さの煙突を設け

手作りのよさを伝えてみませんか

木工指導者養成講座
市中央公民館では、生涯学習の一環として開講する木工指導者養成講座の受講生を募集しています。受講後は、指導者として公民館の主催する木工教室等で活躍していただきます。手作りのよさを後世に伝

市内の歴史や民俗を学んでみませんか

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている美々津の町並みにある日向市歴史民俗資料館では、市民を対象に市の歴史や民俗に関する講座を開きます。講座は、6月から12月まで4回に分けて行われ、そのつど受講希望者を募集します。

第1回目の講座は、「日向の城跡を探る」のテーマで、6月27日(土)午前10時から市中央公民館で行います。

定員になり次第締め切りますので、受講希望の方はお早めに日向市歴史民俗資料館(〒889-1111 日向市美々津町324番地/☎5810443)へ、

女性の皆さん ワープロを学びませんか

宮崎県女性就業援助センターでは、女性のためのワープロ講習会を開きます。希望する方は、お早めに申し込みください。

◇講習日程 6月29日～7月3日の5日間(午前9時～12時)

◇定員 20人(申込多数の場合)

女性の方へ 受講資格は女性(初心者) 講習会場は日向高等職業訓練校(財光寺下ヶ浜)

◇受講料 無料(ただし、テキスト代800円要)

◇申込締切 6月22日(月)

◇申込・問い合わせ 県女性就業援助センター日向地区相談所(☎52-1345)

※月・水・金の午前9時～午後4時にお電話ください

日曜等在宅医表の変更

先に市民の皆さんにお配りしました平成10年度及び11年度分の日曜・祝日在宅医表で、下記のとおり変更がありましたのでお知らせします。

(旧)変更前		(新)変更後	
B 班	9	B 班	9
渡辺病院	武富医院	渡辺病院	武富医院
産婦・泌尿	皮膚	産婦・泌尿	皮膚
57 平岩	52 春原町	57 平岩	52 春原町
11011	15522	11011	15522
53 上町	54 財光寺	53 上町	54 財光寺
18910	14401	18910	14401
54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺
14401	14401	14401	14401
54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺
14401	14401	14401	14401
54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺	54 財光寺
14401	14401	14401	14401

6月の相談日程

- ◇交通事故巡回相談
と き 6月19日(金) 10:30~14:30
ところ 中央公民館
- ◇無料法律相談(要予約)
と き 6月11日(木)
ところ 社会福祉協議会
申込先 ☎52-2572
- ◇年金巡回相談
と き 6月9日(火) 10:00~15:00
ところ 青少年ホーム
- ◇子育て相談(毎月第2・4土曜日)
と き 6月13日・27日 10:00~16:30
ところ アスティ日向寿屋

愛のご寄付(敦称略)

故人	喪主	地区
木浦 巖	文子	切島山
松本 恵	シモ広	見
金子 花子	昭	藤沢市
金子 晶	子浜	町
守安ミチエ	直人	公園通り
橋口ヒサエ	雅幸	高松
中元エミ子	馨	東郷町

社会福祉協議会 4月30日現在

野別 俊一	俊幸	財光寺
日高ハツ子	博明	比良
黒木太七郎	ハル子	水田
三好淳一郎	高子	中原
甲斐 豊	千枝	別府
鈴木シヨブ	テル子	西川内
後藤 莊吉	スミ子	庄手
佐々倉春子	吉田嘉苗	新町
関谷アサヘ	松本二子	日知屋
柄本ミカラ	宣保	延岡市
高橋 福治	トシエ	松原
黒木 米蔵	美行	水江
原田ハナエ	裕一	笹野中
児玉 優希	義次	高々谷

すこやか広場

乳幼児健診

■3カ月児健診

とき◇6月12日(金)、26日(金)
対象◇平成10年3月生まれ

■7カ月児健診

日時◇6月19日(金)
対象◇平成9年11月生まれ

■1歳児健康相談

日時◇6月16日(火)
対象◇平成9年5月生まれ

■1歳6カ月児健診

日時◇6月11日(木)
対象◇平成8年11月生まれ

■3歳児健診

日時◇6月5日(金)
対象◇平成6年11月生まれ
※受付時間は、3カ月児/午後1時～1時30分、7カ月児・1歳6カ月児・3歳児/午後1時～2時、1歳児/午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、健康管理センター(☎内線2181・2182)へ。

6月の休日在宅医

- 7日 ▷三股病院(内・外・整形外科・胃腸・麻酔☎58 0034)▷尾崎眼科(眼☎52 5600)▷今給黎医院(内・循環☎54 2459)▷寺尾医院(産婦☎63 1447)
- 14日 ▷渡辺病院(産婦・泌尿☎57 1011)▷天生堂医院(内・整形外科・麻酔☎53 8910)▷武富医院(皮☎52 5522)
- 21日 ▷千代田病院(内・外・整形外科・胃腸・リハ・皮・放・麻酔☎52 7111)▷柳田医院(産婦☎52 2950)▷瀧井病院(内・精神☎52 2409)
- 28日 ▷二木医院(産婦・外・

胃腸・放☎54 4468)▷協和病院(精神・神経眼☎54 2806)▷吉田医院(内・循環・小児☎54 4401)

のびのび子育て

子育てテレホンサービス《☎53-5857》の6月分のテーマは次のとおりです。

- ▶1日～7日/説明は分かりやすく具体的に。
- ▶8日～14日/子どもの食生活と異常心理
- ▶15日～21日/豊かな情操を育てる
- ▶22日～28日/知的遊びのねらい・その1

6月の献血日程

▶3日(水)/日向市役所(日向ライオンズクラブ協力10:00～16:30)

6月の母親学級

- 17日(水)/妊娠と歯の健康・虫歯チェック等(要予約)
 - 25日(木)/出産に向けて(呼吸法・赤ちゃんの入浴練習等)
- 会場は、市民健康管理センターで、時間はいずれも午後1時30分からです。

すくすく教室

- 日時=6月25日(木)午後2時～
- 会場=市民健康管理センター
- 対象=生後6カ月までの乳児を育児中のお母さん・お父さん
- 内容=①身体測定、②離乳食づくり、③育児相談、④交流会など



鳥巢典子さん・千華ちゃん親子(亀崎)

ハイ! 保健婦です

6月11日は入梅。これから長雨の季節を迎えますが、この時期に心掛けたいことと言えば、住まいのカビ対策。住居の汚ればかりでなく、カビが原因でアトピー性皮膚炎や鼻炎、気管支炎といった健康面での弊害も出てきます。

万全なカビ対策には、換気と掃除が第一です。晴れた日には、窓を開けて換気をよくしましょう。また、タンスなどは、壁際から少し離しておいたり、押し入れの床にすのこを敷いたり、キャスター付きの収納箱を使ったりすることにより、風の通り道ができて湿気対策には有効です。

掃除では、湿気を含みやすい浴室、エアコンのフィルター、布団、じゅうたんなどを特に注意して掃除してください。

また、梅雨から暑い夏にかけて食中毒が多発します。食品の取扱や台所用品、冷蔵庫の管理などに気をつけ、食中毒予防に心掛けましょう。

後編 記集



今月号のボランティア特集はいかがでしたか。人それぞれにボランティアに対する考え方には違いがあると思います。私は、この取材を通して「ボランティアとは、活動そのものを指すのではなく、その活動に至る心の動きを指すものだ」と感じました。

また、その活動の先には、人々の笑顔があり、ひいては日向市の明るい未来があるように感じます。

私たちの明るい未来のために早速始めませんか、ボランティア。

《Y》

日向市の人口と世帯

(平成10年5月1日現在)

人口	58,901人	(+110)
男	27,944人	(+42)
女	30,957人	(+68)
世帯数	21,355世帯	(+158)

転入	597人	転出	427人
出生	62人	死亡	41人